

令和4年度 公益社団法人  
上里町シルバー人材センター事業計画書  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

令和2年より、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルスは、次々と新種を発生させ、昨年度も感染拡大防止に明け暮れた1年でした。東京オリンピック終了とともに感染が拡大した後、2回のワクチンの接種も進み、一旦、小康状態となりましたが、令和4年を迎えて再拡大しています。

新型コロナウイルスの拡大防止のための、緊急事態宣言とそれに準ずるまん延防止等重点措置の発令が、受注に大きな影響を及ぼしています。さらに、町施設の老朽化にともなう閉鎖が相次いでいます。町の施設にて、清掃、管理、草刈等の就業を受注していますので、閉鎖によっておおきな打撃を受けています。また、昨年度起きた重篤事故の再発防止策で、安全就業の見直しを行い、令和4年度はそれによる受注減も加わります。

先を見つめますと、令和5年10月に迫る消費税の適格請求書（インボイス）制度に向けて、配分金として会員の方々が受け取った消費税分の仕入税額控除が多額なセンターでは、令和4年度から様々な施策を打つ必要があり、たいへん厳しい運営環境にあります。

この時期を乗り越えるために、安全就業はもとより、就業拡大、会員数増大に力を注ぎ、より多くの高齢者の方々に就業していただき、シルバー人材センターから笑顔地域に広げ、「定住したい町」になる一助になるよう努めてまいります。

## 1 現状と課題

人生100年時代（超高齢化社会）の中、企業での定年制の65歳への延長、70歳までの雇用努力により、新しく入会される会員の高齢化が進んでいます。昨年度は、ご病気で一時お休みされる方が相次ぎ、またお亡くなりになられた方も数名おられました。会員の方々の健康管理にも、より注意を払わなくてはなりません。

健康診断の受診促進、そしてフレイル（心身の加齢変化）予防のための、サポーター及び測定員の養成が急務となっています。

## 2 計画目標と方針

- 1) 経常収支の緩やかな減少（前年度予算比マイナス4%程度）
- 2) 派遣を中心に新規顧客、また新規事業の開拓（目標：総契約額の派遣比率13%）
- 3) 会員数増加により、多くの高齢者に就業を提供（目標：会員数250名）
- 4) 高い就業率の維持（目標：85%）

- 5) 女性会員比率の向上（目標：35%）
- 6) 就業中、就業途上の事故撲滅

### 3 重点的施策

- 1) 会員増加（特に女性会員）
- 2) 就業開拓
- 3) 安全・適正就業
- 4) 町役場・町議会との関係強化
- 5) 組織・運営体制の強化

### 4 会員増加について

会員数は過去210名前後で推移してきましたが、令和2年度末に行った会員拡大キャンペーンにより、一挙に230名台に増えました。今年度は更なる会員拡大キャンペーンで250名を目指します。また、女性限定の入会説明会を数回開催します。

### 5 就業開拓について

就業開拓専任員が中心となり、新規の顧客にて就業開拓を進めてまいります。昨年度は、就業機会の発掘はしたものの、技能的に困難、希望者がいない、センターの内規等と合わない、発注者の計画変更等の理由で、受注に至らなかったものも多くありました。その発注先窓口も活用して、開拓を進めていきます。

### 6 安全・適正就業について

昨年度の重篤事故の経験を活かし、安全就業に取り組んでいきます。それに加えまして、会員の健康管理、フレイル予防のためサポーター及び測定員の養成を行います。また、適正就業に関しては、就業実態を把握し、契約内容・就業形態を見直します。

### 7 町役場・町議会との関係強化について

町役場からは、毎年度、多額の補助金を交付していただいています。これをベースにして、国庫補助金をいただき、シルバー人材センターの運営費・事業費を賄っています。このため、町役場・町議会の、センターの意義と活動に対する理解、支援が不可欠となります。今後も定期訪問を通じて、強化していきます。

### 8 組織・運営体制の強化について

会報、掲示板等により、会員に対してシルバーの価値や目指す方向を理解、浸透させ、会員のシルバーに対する愛着心（エンゲージメント）を高めます。